

# 渉外交流委員会

- 委員会名：渉外交流委員会
- 担当副理事長名：西崎 肇
- 委員長名：根本 紗央里
- 副委員長名：青木 智博
- 委員名：大森 啓田、森山 桂多、吉田 健次
- 作成者名：根本 紗央里

## 1. 委員会活動方針

鎌倉のまちには新たに移り住んできた様々な世代の住民と古くから住み続ける住民による多様性を含んだ共生の一方で、相互理解の不足から住民間の分断や軋轢を生じさせる可能性がありますと考えます。市民がお互いに尊重し合い、共に支え合うことの出来る土壌を築く為に、まず会員一人ひとりが、青年会議所活動の中にある多くの会員や先輩諸氏との交流の機会を通じて知見を広げ、新たなつながりを構築できる人材となる事が必要です。その上で市民同士が理解し合える交流の場を創出していく事が求められていると考えます。

本年度渉外交流委員会では、まず会員が多くの学びとつながりを得られるよう、県内で多く開催される青年会議所の諸事業への積極的な参加を啓発するとともに、出向している多くの会員が出向先での活動意欲の向上となるよう年間を通じて支援を行って参ります。次にこれまで鎌倉のまちづくりの一翼を担ってこられた世代の異なる先輩諸氏との交流を通じて、過去の活動を会員が学び、今後の運動の展開に繋がるようなメモリアルデーを開催します。次に、会員が鎌倉の中だけでなく、様々な地域で同じ志を持って活動する仲間と共に学び、つながりを持つ機会となるよう、隣接する地域の青年会議所との交流の場を設けます。次に、出向する多くの会員が活躍する相模原で開催される関東地区大会、そして横浜で開催される世界会議は、同じ神奈川県内で開催されることを絶好の機会と捉え、世界中の会員と友情を深め友好の輪を広め、学びを広げるための機会といたします。最後に、鎌倉に住み暮らす市民同士の相互理解の一助となるつながりを創出する為に、世代を越えて誰でも参加できる新たな交流事業を開催します。

当委員会では、これらの事業を本年度テーマの「未来思考」の精神で推し進めて様々な地域や世代の方々と交流する事で、会員一人ひとりが知見を広げ、新たなつながりを構築できる人材へと成長すると考えます。そしてそれは、鎌倉に住み暮らす市民同士の相互理解しやすい環境を創出する事につながり、ひいては「明るい豊かな社会の実現」の一助になると確信します。

## 2. 委員会事業計画

### (I) 渉外に関する事業

- (a) 内 容：公益社団法人日本青年会議所本会  
関東地区協議会並びに神奈川ブロック協議会事業への参加、  
出向者支援、関係諸団体事業への参加
- (b) 時 期：2020年1月～12月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、先輩諸氏
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

### (II) 先輩諸氏との交流を通じて過去を知り未来につなげる事業

- (a) 内 容：メモリアルデーの開催
- (b) 時 期：2020年3月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、先輩諸氏
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

### (III) 近隣の青年会議所と交流し学びを得るための事業

- (a) 内 容：近隣LOMとの交流事業の開催
- (b) 時 期：2020年6月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

### (IV) 会員同士の友情を深め友好の輪を広げ、学びを得るための事業

- (a) 内 容：関東地区大会相模原大会、世界会議横浜大会への参加
- (b) 時 期：2020年7月、11月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、先輩諸氏
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

### (V) 市民が新たにつながる機会を創出する事業

- (a) 内 容：世代を越えた交流事業の開催
- (b) 時 期：2020年10月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

## 3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大
- (b) 渉外事業への参画、参加